

東環協ニュース

発行●東京都環境計量協議会

〒114-0013 東京都北区東田端 1 - 12 - 3
稲垣ビル 5F セフティレビュー内
TEL (03) 5855-0260
FAX (03) 5855-0261
MAIL toukankyo@mbs.sphere.ne.jp
URL <http://www.toukankyo.org>

- ★ 第 36 回通常総会報告
 - ・第 36 回通常総会議事録
 - ・総会資料
- ★ 第 36 回通常総会後の懇親会報告
- ★ 平成 25 年度 新任者教育セミナー報告
- ★ 新役員の挨拶
- ★ 役員の仕事分担
- ★ 関係機関・団体の動き
 - ・首都圏環境計量協議会連絡会
 - ・神奈川県環境計量協議会
 - ・埼玉県環境計量協議会
 - ・千葉県環境計量協会
 - ・日本環境測定分析協会
- ★ 東環協からのお知らせ
 - ・平成 25 年度第 1 回親睦ゴルフ大会報告
 - ・平成 25 年度これからの主要行事予定
 - ・事務局からのお知らせ

第 36 回通常総会報告

平成 25 年 5 月 14 日(火)、第 36 回通常総会が四谷スクワール麹町 3 階「華の間」で開催されました。正会員 25 社のご出席をいただき、32 社の委任状と合わせ定数を充足していることから、定刻の 16 時 30 分、佐藤副会長が総会の成立を宣言しました。議長には鈴木会長が選出され、竹田副会長により昨年度の事業報告並びに収支決算報告、今年度の事業計画・予算案の説明が行われました。今年は役員任期途中ですが、3 名の理事が都合により退任されたため、会長推薦による新役員 4 名の提案があり、総会において承認され、新たに小牧理事・斉藤理事・佐賀理事・田口理事が選任されました。審議は滞りなく進行し、17 時 40 分に総会は無事終了いたしました。詳細は議事録及び総会資料をご覧ください。

鈴木会長の挨拶



<鈴木会長>

ただ今、ご紹介に預かりました会長の鈴木でございます。総会の開催にあたりまして、一言ご挨拶を申し上げます。本日はご多用中、本総会に多数ご出席頂き誠に有難うございます。東京都計量検定所から千葉副所長にご来席いただき有難うございます。

今、世の中の関心は、環境より経済、景気の回復にあります。昨年末の安倍内閣の発足に伴い、株高、円安が続いておりますが、私たちの業界はまだ景気回復の恩恵にあずかっているとはいえません。また、東日本大震災から 2 年経ち、福島県以外の被災地では、がれきの処理は順調に進んでいるようですが、防災対策が定まらないなど復興の速度は鈍っているようです。福島県では、除染作業が始まりましたが、避難している方々が地元に戻るのに時間がかかりそうです。

環境問題では、水銀の「水俣条約」が INC5（政府間交渉委員会）で合意され水銀の規制が厳しくなります。環境基準では、ノニルフェノールに続き直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩が追加になりました。また、建物解体時のアスベスト対策が強化されています。今年になってからは、中国からの PM2.5 の問題が大きく取り上げられています。これらが、今後わたくしたちの仕事にプラスになってくることを期待しているところです。

放射能測定に関しては、環境基本法の除外規定が外れたのをうけて、4 月の閣議決定で、大気汚染防止法、水質汚濁防止法とも放射性物質の除外規定が外れましたので、今後、環境調査に放射性物質の測定が加わってくることが考えられます。

東環協の昨年度の行事としましては、新任者教育セミナーを千葉県、埼玉県の計量協議会と合同で開催し、研修見学会では洪水対策時の貯水施設である外郭放水路の見学を行いました。技術研修会では、放射能関係を 2 題、講演をいただき、環境測定事例発表会では多くの皆様の参加をいただきありがとうございました。

皆様もご覧になっていると思いますが、東環協のホームページが新しくなっております。現在、公官庁を中心に新しい情報を掲載し、少しでも皆様の参考になるようにしました。

これより第 36 回の通常総会におきまして、平成 24 年度の事業報告と収支決算報告ならびに平成 25 年度の事業計画案と収支予算案のご審議を頂くわけですが、皆様の活発なご意見、ご討議をお願いしたいと思います。

簡単ですがご挨拶とさせていただきます。



<通常総会風景(1)>



<通常総会風景(2)>

ご来賓の方の祝辞

東京都計量検定所 副所長 千葉 理恵子氏



<千葉副所長>

ただいま、ご紹介をいただきました、東京都計量検定所副所長の千葉でございます。

この4月に着任をいたしました。どうぞよろしくお願いいたします。

本日、東京都環境計量協議会総会が、このように盛大に開催されましたことを心からお喜び申し上げます。

東京都環境計量協議会様におかれましては、技術研修会や事例発表会など、様々な取り組みにより、環境計量に関する技術の向上にご尽力されていると伺っております。皆様の活動の一つ一つ

が、東京の環境の維持向上に、多大な影響を与えているものと存じます。

皆様の日々の地道な取り組みとご努力に心から敬意を表するとともに、今後とも、環境負荷の少ない都市づくりにお力を発揮してくださいませよう願っています。

また、協議会様、協議会会員の皆様方には、11月の計量記念日に、新宿駅西口広場で行っております「都民計量のひろば」におきまして「環境と計量」のコーナーの出展、運営にご協力いただくなど、日ごろから私どもの業務につきまして、深いご理解と多大なご支援をいただいていると聞いております。この場をお借りいたしまして厚くお礼申し上げます。

計量検定所は今年度、江東区新砂に移転を予定しております。移転日程など詳細が決まりましたら、改めてご連絡をさせていただきます。何かとご迷惑をおかけすることもあろうかと思いますが、なにとぞよろしくお願いいたします。

今後とも、私ども計量検定所の業務につきましてご支援くださいますよう、重ねてお願い申し上げます。

本日ご参会の皆様のご健勝とご活躍を祈念いたしまして、はなはだ簡単ではございますが、私のご挨拶とさせていただきます。

ありがとうございました。

東京都環境計量協議会
平成25年度（第36回）通常総会
議 事 録

日 時 : 平成25年5月14日（火） 16:30～17:40
場 所 : スクワール麹町（東京都千代田区麹町6-6）
出席者 : 57社（うち委任状32社）

佐藤隆副会長が16時30分、正会員総数78社中57社の出席があり、会則第12条により総会が成立することを宣言した。

総会を開催するに当たり、最初に鈴木幹夫会長が挨拶を行った。

会則第22条に従い、会長が議長となったが、議事に入る前に会長は議事録署名人として、帝人エコ・サイエンス(株)谷口新吾氏、(株)日本シーシーエル川内康弘氏を指名し、両氏はこれを承諾した。

議 事

1. 第1号議案「平成24年度事業報告承認の件」及び第2号議案「平成24年度収支決算報告承認の件」について

竹田良平副会長が、配布された総会資料に基づき説明した。引き続き石山直樹監事が、平成24年度決算書について詳細に監査した結果、収支状況を正しく示している」と報告した。第1号議案及び第2号議案について一括審議した結果、異議なく承認された。

2. 第3号議案「平成25年度事業計画（案）審議の件」及び第4号議案「平成25年度収支予算（案）審議の件」について

竹田良平副会長が、配布された総会資料に基づき説明した後、第3号議案及び第4号案について一括審議した結果、異議なく承認された。


3. 第5号議案「新役員承認の件」について


鈴木幹夫議長より、本年度は任期途中だが、3名の理事が都合により退任されたため、会長推薦による新役員4名の提案があり、異議なく承認された。

以上で第36回通常総会の議事が終了し、17時40分佐藤隆副会長の閉会の言葉で閉会した。

以上

議 長 鈴木幹夫 

議事録署名人 川内康弘 

議事録署名人 谷口新吾 

平成 2 5 年 度

第 3 6 回
総 会 資 料

平成 2 5 年 5 月 1 4 日 (火)

東 京 都 環 境 計 量 協 議 会

総 会 次 第

1. 日 時 平成25年5月14日(火)
午後4時30分
2. 場 所 スクワール麴町 3階「華の間」
3. 総会の成立と開会宣言
4. 会長挨拶
5. 議長選出
6. 議事録署名人の選出
7. 議 案
 - 第1号議案 平成24年度 事業報告承認の件
 - 第2号議案 平成24年度 収支決算報告承認の件
監査結果報告
 - 第3号議案 平成25年度 事業計画(案)審議の件
 - 第4号議案 平成25年度 収支予算(案)審議の件
 - 第5号議案 新役員承認の件
8. 閉会の言葉

平成24年度事業報告

平成24年度は、自民党への政権交代後アベノミクス効果により緩やかな景気回復基調は見られるものの、私共検査分析業界の業況は依然として予測は難しいように感じられます。また、昨年は環境省の「底質調査方法」の改正、「水質汚濁防止法」の改正、また厚生労働省の「水道法」の改正等、また最近では環境中のPM2.5の増加が問題になるなど検査分析業界にとっては何かと対応に追われる年であったようにお察しいたします。

このような厳しい中でも、当協議会は「環境計量証明の測定・分析データの信頼性及び品質向上」、「分析技術者の技術向上」をスローガンとし、またホームページをリニューアルし新着情報を掲載すると共に測定・分析業界の発展に寄与すべく、多くの会員企業が試薬及び機器メーカー等と交流出来るよう日々努めて参りました。

また、環境省、東京都計量検定所ほか関係官庁には、日頃よりご指導・ご協力を仰ぐと共に(一社)日本環境測定分析協会ならびに首都圏環境計量協議会連絡会、大阪環境測定分析事業者協会などの関連団体と連携を図りながら、若手技術者を対象とした「新任者教育セミナー」の開催や技術研修会、事例発表会を開催することで会員相互の交流と技術情報習得の一端を担ってきたものと考えております。

以下に、それらの詳細をご報告致します。

平成25年3月31日現在の会員数

正会員 78社(入会0社、退会2社)

賛助会員 8社(入会0社、退会0社)

合計 86社

役員 会長 1名、副会長 2名、理事 7名、監事 2名、顧問 1名

1. 会議の開催

(1) 総会 平成24年度(第35回)通常総会

日時 : 平成24年5月10日(木) 17:00~17:50

場所 : スクワール麴町(東京都千代田区麴町6-6)

出席者 : 56社(うち委任状32社)

(2) 役員会

全体会議 : 5回

平成24年 : 5月10日、7月13、14日、10月11日、12月6日

平成25年 : 3月19日

(3) 部会会議

総務、業務、技術の3部会で必要に応じて担当理事による会議を開きました。

2. 事業活動

(1) 新任者教育セミナー

当協議会では「環境計量に関する測定データの信頼性の向上」また「安全・安心を提供できる技術者の育成」をスローガンとして各種技術講習会等を企画しております。今回も昨年度同様、(一社)日本環境測定分析協会関東支部との共催ならびに千葉県環境計量協会、埼玉県環境計量協議会との合同開催による『新任者教育セミナー』を実施致しました。今年度は、東環協から17名、千環協から10名、埼環協14名の合計41名に参加頂きました。

日 時 : 平成24年6月20日(水) 10:00~17:00

場 所 : (一社)日本環境測定分析協会 研修室

講義1「労働安全衛生について」(10:45~12:00)

講 師 : セフティレビュー 大山 喜彦氏

講義2「環境計量の仕事とは」(12:45~14:15)

講 師 : 小池技術士事務所 小池 満氏

講義3「精度良い測定のために」(14:30~16:00)

講 師 : (株)佐々木環境技術事務所 佐々木克典氏

修了証授与式&名刺交換会 (16:00~17:00)

- ◇ 講義1では、労働安全衛生の基礎から測定業務における安全管理や労働安全衛生の進め方などの講義がなされ、聴講者からは日常業務におけるリスクアセスメントの重要性や、難しさが分かりましたとの感想が聞かれました。
- ◇ 講義2では、計量の歴史から地球環境問題、また環境関連法規や計量証明事業登録制度、さらには国際規格や資格取得に至るまでの幅広い内容の講義がなされ、聴講者には環境問題が社会的に注目されてきた経緯などの認識を深めて頂きました。
- ◇ 講義3では、「精度」と「正確さ」について、また標準物質と試薬・器具類の管理、さらに自己管理の必要性とサンプリングの基礎とデータの取り扱い(不確かさ・再現性)に至るまでの講義がなされ、聴講者からは精度の良いサンプリングの重要性をはじめ分析機器、試薬の管理の重要性など実際の業務で直面する事例に参考になりましたとの声が多く寄せられました。

講義の後の名刺交換会では、千環協、埼環協の参加者と共に、年齢、所属企業を越えて、それぞれ名刺交換しながら、仕事の情報交換をする光景が見られるなど活気あふれる交流会ができました。

(2) 濃度、騒音・振動関係技術研修会

本年度の技術研修会は、福島第一原子力発電所の事故発生により社会的な問題となっている、放射性物質による土壌汚染の問題に関連した2題のご講演となりました。

日 時 : 平成24年10月11日(木) 13:30~17:00

場 所 : スクワール麹町 3F 「華の間」

参 加 者 : 会員22社36名

① 第一部 (13:30~15:00)

演 題 : 「放射性物質汚染対処特措法運用における土壌汚染調査の留意点」

講演者 : 富山大学 理学部 生物圏環境科学科 教授 丸茂 克美氏

◇ 丸茂氏には、放射性セシウムと人間・農作物の関係、また土壌に対する放射性セシウムの吸着特性をご講演いただきました。最後に除染方法などにもふれ放射性物質における土壌汚染について、歴史を踏まえ貴重な意見を伺うことが出来ました。

② 第二部 (15:30~17:00)

演 題 : 「自然環境状態の変化が引き起こす不動産市場への影響について」

講演者 : 明海大学 不動産学部 不動産環境政策研究室 選任講師 本間 勝氏

◇ ご講演では、大きく4つのテーマについてお話していただきました。はじめに、不動産と環境、次に東日本大震災による自然環境状態の変化、つづいて地盤環境問題に起因する不動産の問題、最後に自然科学と社会科学の複眼的検討の重要性についてご講演いただき、適正な評価と価値、地域活性化をにらんで活動していくことが日本や市民の幸福にとって大事であると締めくくっていただきました。

(3) 環境測定技術事例発表会 (10:00~19:00)

本年は特別講演としまして東環協会長の鈴木より「底質調査方法の改定」についてご講演いただきました。

今回の発表の内訳は濃度関係6題、騒音関係1題で内一題は大環協様からいただき、内容も濃く質疑応答も活発に行われ、充実した事例発表会になったと思われます。

日 時 : 平成24年11月13日(火) 10:00~19:00

場 所 : スクワール麹町

参 加 者 : 会員25社(58名)

(4) 新春賀詞交歓会

日 時 : 平成25年 1月17日(木) 18:30~20:30

場 所 : スクワール麹町 3階「華の間」

出席者数 : 82名(会員37社・72名、賛助会員3社・6名、来賓4名)

- ◇ 新年のご挨拶を鈴木会長、来賓として東京都生活文化局計量検定所・検査課長高橋宏栄様、(一社)日本環境測定分析協会・会長である橋場常雄様から頂戴した後、(一社)日環協関東支部支部長であります津上昌平様の乾杯で新春賀詞交歓会がスタートしました。
- ◇ 歓談の途中では、アジレント・テクノロジー株式会社様、竹田理化工業株式会社、及び関東化学株式会社様よりご挨拶を頂戴致しました。
- ◇ 歓談後は、恒例のビンゴ大会を行い、賞品を貰う参加者らは満面の笑みを浮かべる方々で大いに盛り上がりました。

(5) 東環協ニュースの発行(年3回)

第150号:平成24年 7月26日

第151号:平成24年11月 9日

第152号:平成25年 2月28日

(6) 東環協メール情報サービス(10件)

メール情報提供をNo.210~No.219まで行いました。

(7) 見学・研修会

本年度の東環協見学・研修会は、首都圏環境計量協議会連絡会の研修見学会として首都圏の4県単の合同開催になりました。

日 時 : 平成24年 9月10日(月) 10:10~17:00

参 加 者 : 38名(東環協会員 16社 29名)

行 程 : 新宿駅西口出発—首都圏外郭放水路—丸草—福本店
—新宿駅西口解散

- ◇ 今年は出発時間を1時間遅らせ、13時に首都圏外郭放水路(地下神殿)に到着しました。首都圏外郭放水路は、溢れそうになった中小河川の洪水を地下に取り込み、国道16号線の地下50mに建設された延長6.3kmの地下トンネルを通して江戸川に流す、世界最大級の洪水防止施設で、国土交通省江戸川河川事務所が管理しており「地下神殿」と呼ばれております。
- ◇ 次に草加市内の「草加煎餅まるそう一福本店」を訪れ、工場、煎餅資料館、民具館を見学し、予定通り18時に新宿駅西口に戻ってきました。

(8) 首都圏環協連関連事業

首都圏環協連委員会 : 4回

平成24年 : 6月1日、8月31日、12月2日

平成25年 : 3月1日

- ◇ 各県単の活動状況を報告し合い、当業界を取り巻く諸問題について意見交換しました。
- ◇ 平成23年度より分析単価等検討委員会を立ち上げ、今回は、(一社)愛知県環境測定分析協会との合同研修会を行いました。

(9) 東京都計量検定所関連事業

期 日 : 平成24年11月1日(火)

イベント : 「都民計量のひろば」

場 所 : 新宿駅西口イベント広場

主 催 : 都民計量のひろば実行委員会

構成団体等 : 東京都計量検定所、(一社)東京都計量協会、東環協等18団体

- ◇ 平成24年度の「都民計量のひろば」のメインテーマは昨年度と同様に「くらしと計量」、サブテーマは「正しくはかって明るい未来」でした。
- ◇ 東環協は例年通り「環境と計量コーナー」を担当し、可燃ガス検知モニターやホルムアルデヒドなどの検知管、CO₂計、騒音計、放射線測定器などの測定機器を中心に展示・デモンストレーションを行いました。
- ◇ 環境問題をテーマにしたクイズを行ったところ、360名に参加頂きました。参加者には当会の正会員である(株)ヤクルト本社様より無償提供頂きましたリサイクル品のエコスタンドをまた、全問正解者には、松田産業様ご提供の金銀耳かきを提供していただきました。
- ◇ 主催者側の発表によれば、来場者は延べ1,000名ということでした。

(10) 平成24年度親睦ゴルフ大会

第1回(通算第24回)

開 催 日 : 平成24年7月20日(金)

場 所 : 富貴ゴルフ倶楽部

参加者数 : 16名

第2回(通算第25回)

開 催 日 : 平成24年11月22日(金)

場 所 : 皐月ゴルフクラブ 佐野コース

参加者数 : 11名

(11) ホームページリニューアル

東環協ホームページを新しくし、東環協関係の事業等を新着情報として表示するほか、環境省等の関係する情報を毎月更新することにしました。

以上

[第2号議案]

本議案については、当協議会のネット規定上、公開しないこととします。

[第3号議案]

平成25年度 事業計画 (案)

1. 会議の開催

- (1) 総会 平成25年5月14日 (火)
- (2) 役員会 6回程度 (予定)

2. 事業活動

(1) 総務関係

- ①ニュースの発行 3回 (予定)
- ②会員名簿の発行 7月 (予定)
- ③首都圏その他の連絡会議への参画
- ④ホームページの更新
- ⑤各種資料の配付

(2) 技術関係

- ①新任者教育セミナー 6月 (予定)
- ②技術研修会 10月 (予定)
- ③環境測定技術事例発表会 11月 (予定)

(3) 業務関係

- ①見学会及び新春賀詞交歓会
 - ・見学会 9月 (予定)
 - ・新春賀詞交歓会 平成26年1月 (予定)
- ②都民計量のひろば行事 11月1日 (予定)
- ③その他 (各種親睦会等)
 - ・ゴルフ大会 6月、9月の2回 (予定)
 - ・その他

(4) 官公庁その他に対する協力

- ①東京都計量検定所が行う講習会への協力
- ②(一社)日本環境測定分析協会関東支部が行う行事への協力
- ③その他

以上

[第4号議案]

本議案については、当協議会のネット規定上、公開しないこととします。

[第5号議案]

新役員承認の件（案）

理事の任期中ではございますが、3名理事が退任いたしましたので、定款第11条（役員を選出）に基づき理事会におきまして会長推薦で以下の理事で会を運営していきたいと考えております。

尚、前期は1名不足の状況で運営しており、今期3名の理事の退任に伴い今年度は4名の方に理事をお願いしております。

任期:平成25年5月総会后～平成26年5月総会まで

	役職	氏名	会社名	
1	会長	鈴木 幹夫	いであ（株）	
2	副会長	佐藤 隆	（株）分析センター	
3	副会長	竹田 良平	ヒロエンジニアリング（株）	
4	理事	五十嵐 鋼	（株）東京環境測定センター	
5	理事	池田 郁司	（株）日新環境調査センター	
6	理事	川東 光三	（株）トーニチコンサルタント	
7	理事	中村 勉	（株）環境技術研究所	
8	新理事	斉藤 徹	（株）環境管理センター	会長推薦
9	新理事	田口 和男	（株）オオスミ	会長推薦
10	新理事	佐賀 一芳	三洋テクノマリン（株）	会長推薦
11	新理事	小牧 博信	（株）環境総合テクノス	会長推薦
12	監事	石山 直樹	ユーロフィン日本環境（株）	
13	監事	泉 健司	エヌエス環境（株）	

*敬称略

第36回通常総会後の懇親会報告

総会終了後、恒例の懇親会が18時から、同じくスクワール麹町の3階「錦の間」にて、会員企業31社56名、来賓3名の方々にご出席いただき、盛大に開催されました。来賓には日本環境測定分析協会 会長 橋場常雄氏、同協会 顧問 田畑日出男氏、当協議会 顧問 三階貴男氏をお迎えしました。

司会は中村理事が務め、鈴木会長の挨拶に始まり、来賓を代表して日環協の橋場会長よりご祝辞をいただきました。当協議会の三階顧問による乾杯の発声により懇親会が始まり、それぞれ歓談しながら楽しい時間を過ごしていました。途中、日環協の田畑顧問、当協議会の新役員、さらに賛助会員の方々の挨拶を賜りました。宴たけなわの中、青木前理事の音頭による中締めで、和やかなうち懇親会が終了しました。



<乾杯の音頭をとる三階顧問>



<懇親会風景(1)>



<懇親会風景(2)>



<青木前理事の中締め>

ご来賓の方の祝辞

一般社団法人日本環境測定分析協会 会長 橋場常雄氏



<橋場会長>

只今、ご紹介にあずかりました、日本環境測定分析協会の会長を務めております、橋場でございます。本日はお招きいただき、誠にありがとうございます。本日は第36回の総会がつつがなく終了したことをお喜び申し上げます。また、鈴木会長が先ほどご挨拶されましたが、急なご病気から驚異的な回復を遂げられて、本日の総会を進められたとのこと敬服するしだいでございます。先ほどのご挨拶をお聞きした限り、ほぼ普段通りのお話しぶりでしたので、さらに東環協のためにご尽力されることと存じます。

さて、政権交代が終わりアベノミクス効果で株式市場も順調に回復し、今日は15,000円台に届く勢いでございます。今後の市場がどうなるかはわかりませんが、少なくとも去年よりも景気の回復の兆しがあるのは確かであります。しかしながら、この景気回復の波が当業界まで届くにはまだ時間がかかると思われませんが、必ずや良い方向に向かうものと思います。さらに、昨年の中央高速道笹子トンネルの天井落下事故のように、高度成長期に作られた社会インフラ整備の必要性が叫ばれています。安倍政権も「国土強靱化計画」と題して、今後社会基盤整備に取り組んでいくようでございます。この部分ではアセスメント、環境調査、モニタリング等々、我々が直接関与することが必須でございます。当業界にも必ずプラスになりますので、日環協の皆様東環協の皆様、是非中心に立ってご活躍されることをお願い申し上げます。

いつもですと、日環協への入会を願うのですが、4年続けますといい加減にしろと言われそうなのでやめまして、今日は私事の話を少しさせていただきます。昨年10月末に34年7カ月勤務しました、株式会社環境管理センターを辞めさせていただきました。大学を出てこの環境測定分析業界に入り、そのまま仕事を続けて参りました。その間、日環協の委員会等で皆様とお付き合いさせていただく中で、最後には会長まで務めさせていただきました。今月24日の日環協総会で私は会長を退任いたしますが、これまでお世話になった方々にお礼を申し上げるとともに、何らかの形でこれからもこの業界のために働いていく所存ですので、今後ともよろしく願いいたします。

本日はお招きいただきまして誠にありがとうございます。

平成 25 年度 新任者教育セミナー報告

当協議会では「環境計量測定データの信頼性の向上」を目的として、今年度も各種技術講習会等を企画してまいります。その一環として昨年に引き続き日環協関東支部との共催で、新任者や若手分析技術者を対象とした『新任者教育セミナー』を開催いたしました。

第6回目となる今年度も千環協と埼環協が加わり、三県単の合同開催となり、55名（東環協：10名、千環協：30名、埼環協：15名）と多くの方にご参加いただきましたが、東環協の会員からの参加者が一番少ない結果となりました。

日 時 : 平成 25 年 6 月 19 日 (水) 10 : 00 ~ 17 : 00
場 所 : (一社)日本環境測定分析協会 2階研修室

講義 1 「労働安全衛生について」 (10 : 45 ~ 12 : 00)

講 師 : セフティレビュー 大山 喜彦氏



<大山講師>

〔講義概要〕

1. 労働災害発生状況
2. 労働安全衛生法とは
3. 安全衛生管理体制
4. 災害発生の仕組みと災害要因
5. 異常事態と潜在危険
6. 労働安全衛生マネジメントシステム (OSHMS) とリスクアセスメント
7. 危険予知と指差呼称
8. これからの化学物質管理の考え方

〔参加者の感想〕

- 労働安全に関わる法律及びその回避法等について、わかりやすい手順、又イラストを用いたスライドで朝からよく頭に入りました。今後ぜひ活かしていきたいです。
- 分析業務では常に危険がひそんでいるので、しっかりと勉強して知識を身につけ、KYをしていきたいと思いました。自分と周りの人の安全を確保していきたいです。
- 普段の業務では見落としがちな、安全対策の細かいところまで目を向けなくてはいけないということを学びました。明日から会社でさっそく確認してみたいと思います。
- 法律は過去に起きた災害や事故の再発防止のために出来たものだと知ることができました。法律の重要性や合理性を認識するだけでなく、OSHMSなどがあることも分かり、大変良かったです。

講義2「環境計量の仕事とは」 (12:45~14:15)

講師：小池技術士事務所 小池 満氏



<小池講師>

〔講義概要〕

1. 環境とは
2. 環境問題の歴史
3. 計量法の歴史と概要
4. 事業登録と環境計量士
5. 環境計量に関わる法令
6. 環境計量証明事業者の実態
7. 資格取得のすすめ

〔参加者の感想〕

- 業務上、環境六法をみる事が多いのですが、今回の講義で環境計量の法律の背景をより理解することができました。今後も法律の背景を考えるようにしていきたいと思いました。
- 環境計量の仕事の全体像が理解でき、有意義であったと感じています。また、環境計量の仕事及び環境問題の「今」についても話して頂き、大変満足しております。

講義3「精度良い測定のために」 (14:30~16:00)

講師：(株)佐々木環境技術事務所 佐々木 克典氏



<佐々木講師>

〔講義概要〕

1. サンプリングの基礎
2. 化学分析・機器分析
 - ・精度管理
 - ・トレーサビリティ
 - ・保守管理
 - ・不確かさ

〔参加者の感想〕

- 自分でなかなか仕事ができなくて悩んでいました。そこで、何故という思いを持って、それを理解しようと思うことが大切だと聞いて、今後、実行していこうと思いました。
- 仕事をしていくうえで大切なことをいくつも教えていただきました。自分の担当している仕事だけを覚えるのではなくて、色々な仕事も積極的に覚えていきたいと思いました。これから仕事の考え方が変わりそうです。
- 分析、サンプリングを行う上で目的を持つこと、疑問を追求すること、バラつきを無くす等など、とても興味深い話で、90分間内容の濃い講義でした。

セミナー終了後、東環協、千環協、埼環協にそれぞれ分かれて、修了証の授与式が行われました。授与式後の名刺交換会は、入社間もない参加者にとっては名刺交換の練習という面もあり、最初は遠慮がちでしたが、次第に打ち解けて、活発にディスカッションしたり、講師の方に積極的に質問をしたりしていました。今年度はテーブル間を積極的に移動する参加者も見られ、中締め後も多くの参加者が会場の制限時間ぎりぎりまで残って意見交換していました。

また、今回も参加者の皆さんにはアンケートをお願いしました。講義についての感想は、講師の方々にフィードバックするとともに、その一部は上記、記事に掲載いたしました。参加者の方の貴重なご意見・ご要望については、今後の東環協の運営に反映させていただきます。



<受講風景>



<修了書授与式>



<名刺交換会風景(乾杯)>



<名刺交換会風景(講師と懇談)>



<名刺交換会風景(ディスカッション)>



<名刺交換会風景(中締め)>

新役員の挨拶

平成25年度は役員の改選期ではありませんが、下記の3名の方が都合により退任されました。永年、東環協の運営、発展にご尽力くださりまして、誠にありがとうございました。皆様のご健勝と益々のご繁栄をお祈り申し上げます。

- ・理事：青木 博 (株)環境管理センター
- ・理事：中西 昇 (株)環境科学コーポレーション
- ・理事：戸賀瀬 龍幸 帝人エコ・サイエンス(株)

また、役員の退任に伴い、通常総会において会長推薦による新役員の提案があり、下記の4名の方が新たに役員として承認されました。

- ・理事：齊藤 徹 (株)環境管理センター
- ・理事：田口 和男 (株)オオスミ
- ・理事：佐賀 一芳 三洋テクノマリン(株)
- ・理事：小牧 博信 (株)環境総合テクノス

新しく役員になりました各氏には、今後の抱負を含め、ご挨拶を頂きました。

齊藤 徹 理事 [(株)環境管理センター]



齊藤理事

この度、第36回東京都環境計量協議会総会におきまして、理事に選任されました(株)環境管理センター齊藤でございます。36年の歴史と伝統のある東京都環境計量協議会の理事という大役を仰せつかり、責任の重さを痛感しております。

当業界を取り巻く環境は、政権交代による景気回復の兆しが見られるものの、依然として厳しい状況であるように感じられます。

その一方で、PM2.5を始めとする環境問題がテレビや新聞紙上を賑わしており、より一層の社会的関心や重要度が増し、且つ、複雑で多様化の傾向を示していると言えます。

私は、このような業界状況や社会状況の変化を踏まえ、当協議会の目的であります「安全、安心を高度な技術、厳しい管理により追及します」に向けて微力ではございますが、精一杯努力をさせていただき所存でございます。

まだまだ未熟者であり、至らぬところも多くあるかと存じますが、役員・会員皆様のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

田口 和男 理事 [(株)オオスミ]



田口理事

この度、第36回総会にて理事に選任されました(株)オオスミの田口でございます。オオスミには今年1月から勤務することになり、再びみなさんとご一緒に活動させていただくことになりました。宜しくお願い申し上げます。ところで東環協には発足以来参加させていただいておりましたが、当業界の現状はますます厳しい状況になっており、技術力や精度管理はもとよりさらには低価格まで要求され協会員の皆様のご苦勞がひしひしと感じられてきております。このような状況にかんがみ少しでも皆様のお力になれるよう努力していきたいと考えておりますが、なによりもまずこの協会の発展と地位の向上を図っていくことが大切なのではないかと思います。そして微力ではありますが皆様とともに「全ての面でモノ言える協会」をつくりあげるための一助になればと考えておりますのでなにとぞ宜しくお願い申し上げます。

佐賀 一芳 理事 [三洋テクノマリン(株)]



佐賀理事

この度、理事を仰せつかりました三洋テクノマリン(株)の佐賀一芳です。今年度より急遽新理事として拝命いただきました。弊社は長年にわたり東京都環境計量協議会、並びに(一社)日本環境測定分析協会の一員でしたが、当協議会では、ほとんど活動らしき対応をしておりませんでした。今回の理事就任に際しては、弊社としても、私一人の問題ではなく、社を挙げて当協議会に対し積極的な対応をさせて頂く所存です。長年にわたり当協議会の培われてきた歴史を理解し、皆様へのお役に立てるよう頑張りたいと思います。現在我が国は、震災復興、原発事故処理、原発再稼働の是非、目まぐるしい政権交代等々、混沌とした激動の最中ではありますが、皆様と共に環境に優しい我が国の未来に向けて邁進致したく、何卒、諸先輩のご指導のほど宜しくお願い申し上げます。

小牧 博信 理事 [(株)環境総合テクノス]



小牧理事

この度、第36回総会で理事に選任されました(株)環境総合テクノスの小牧でございます。諸先輩方が築き上げられた伝統ある東京都環境計量協議会発展のため、精一杯尽力させて頂く所存であります。

弊社は、昭和49年創立以降、関西方面を中心に環境コンサル、土木、建築関連の業務を展開してまいりましたが、近年、関東方面での業務が増えつつあることから、平成22年7月に東京支店を立ち上げ、現在に至っております。東京支店では海洋関係の調査分析関係の業務が中心であります。大阪にある分析所では、水質、土壌の調査分析、排ガス測定などの各種分析業務や、近年の精度管理に必要な標準物質の製造販売も実施しており、その営業活動も東京支店で実施しております。さて、この度のご縁で、平成24年度から当協議会の一員に加えて頂きまして、まだ二年目の新米会員ではありますが、お付き合いのほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。

当協議会のスローガンである「環境計量の測定・分析データの信頼性及び品質向上」ならびに「分析技術者の技術向上」の実現に向けて、非力ながらもお手伝いさせて頂きたく、皆様のご迷惑にならぬよう、一生懸命努力させて頂きたく所存です。今後とも、宜しくご指導下さり、未熟者ではありますが、お引き立ていただきますようお願い申し上げます。皆様のご健康と、益々のご発展をお祈り致します。



役員の役割分担

平成 25 年度は、下記のような役員の役割分担で事業を進めて参ります。

	鈴木	佐藤	竹田	五十嵐	池田	川東	小牧	斉藤	佐賀	田口	中村	石山	泉	三階
役員会議事録						◎	○						○	
ホームページ管理		○		◎	○			○						
資料作成管理		○	○											◎
会員名簿管理				○							○	○		◎
首都圏連絡委員会	◎		○				○				○			
東環協ニュース				○	◎	○							○	
官庁関係挨拶等	◎	○	○						○	○				
新任者教育セミナー	○	◎	○		○		○							
日環協関東支部セミナー	○	○	○											
見学・研修会	○					○		○	○	○		◎		
大環協事例発表会	○	◎												
技術研修会		◎				○		○	○				○	
事例発表会		◎		○	○		○						○	
都民計量のひろば			○				○	○			◎		○	
懇親会(ゴルフ、その他)			○							○	◎	○		
賀詞交歓会	○	○	◎					○		○				
総会	○	○	◎											
会計監査	○	○	○									○	◎	
役員研修会	○	◎	○											
記録写真				○		○								
各種イベント受付								○			○	◎		
事務局	○	○	○											○

◎ 主担当

○ 担当

関係機関・団体の動き

平成 25 年 7 月現在で、既の実施又は今後予定されている関係機関及び団体の動きは、以下のとおりです。

○ 首都圏環境計量協議会連絡会

- | | | |
|-------------|----------|----|
| ・分析単価等検討委員会 | 4 月 22 日 | 京橋 |
| ・第 1 回委員会 | 6 月 10 日 | 神田 |

○ 神奈川県環境計量協議会

- | | | |
|-------------|----------|----------------|
| ・第 37 回通常総会 | 5 月 17 日 | かながわ労働プラザ |
| ・親睦会 | 6 月 6 日 | キングフィールズゴルフクラブ |
| ・親睦会 | 6 月 8 日 | 茅ヶ崎海岸(地引網) |

○ 埼玉県環境計量協議会

- | | | |
|-------------------|----------|------------|
| ・第 37 回通常総会 | 5 月 31 日 | 大宮サンパレス |
| ・新任者教育セミナー(日環協共催) | 6 月 19 日 | 日本環境測定分析協会 |

○ 千葉県環境計量協会

- | | | |
|-------------------|----------|------------|
| ・第 37 回通常総会 | 4 月 26 日 | プラザ菜の花 |
| ・新任者教育セミナー(日環協共催) | 6 月 19 日 | 日本環境測定分析協会 |
| ・ボーリング大会 | 7 月 6 日 | ラウンドワン習志野店 |

○ 日本環境測定分析協会

- | | | |
|---------------------------------------|-------------------|---------------|
| ・平成 25 年度通常社員総会 | 5 月 23 日 | タワーホール船堀 |
| ・新任者教育セミナー | 6 月 19 日 | 日本環境測定分析協会 |
| ・第 24 回日環協・関東支部
環境セミナー in 福島 by 埼玉 | 7 月 18 日
～19 日 | 郡山ビューホテルアネックス |
| ・第 21 回日環協・環境セミナー
全国大会 in Kyushu | 9 月 26 日
～27 日 | 城山観光ホテル |

東環協からのお知らせ

○平成 25 年度第 1 回（通算第 26 回）親睦ゴルフ大会報告

6 月 21 日（金）茨城県稲敷郡阿見町の阿見ゴルフクラブにて恒例の親睦ゴルフ大会が開催されました。梅雨時にも拘わらず、初参加の方やOBさまを含めて 20 名に参加頂き、ひどい雨にうたれることもなく全員無事ホールアウトすることが出来ました。

ゴルフクラブによれば、「プレーヤーの技術・闘志・戦略を引き出す 18 ホール ここは、全長 6,879 ヤードの戦場です」と仰るとおり、立ちはだかる木立ち・池等々の障害に苦戦され、思うようにスコアが纏まらない方もいらしたようです。

参加頂いた、皆さまありがとうございます。

また、表彰式を兼ねたパーティでは、ゴルフ談義に花が咲き、皆さま充分親睦を深められたご様子でした。

次回は、秋の開催を予定しておりますが、残念ながら今回ご参加頂けなかった皆さまも是非ご参加頂きますようお願いしております。



○平成 25 年度これからの主要行事予定



今年の見学・研修会（9 月中旬予定）は、（独法）海洋研究開発機構の施設見学ツアーをメインに計画しており、首都圏環境計量協議会連絡会と合同開催の予定です。海洋研究開発機構では、船舶、潜水船、高圧実験水槽棟、海洋科学技術館等の見学を計画しています。また、アメリカ海軍や海上自衛隊の戦艦が間近で見られる日本唯一のクルージングツアーである YOKOSUKA 軍港めぐりも予定しています。詳細は決定次第、改めてご案内いたしますが、大変興味深い見学・研修会となりますので、お誘い合わせの上、是非ご参加ください。

その他の、今後予定されている行事は、以下のとおりです。各行事については、詳細が決まり次第、随時ご連絡します。

- | | |
|---------------------------------|----------------|
| ・技術研修会 | 10 月 10 日頃 |
| ・都民計量のひろば | 11 月 1 日（金） |
| ・環境測定技術事例発表会 | 11 月 7 日頃 |
| ・平成 25 年度第 2 回（通算第 27 回）親睦ゴルフ大会 | 11 月 22 日頃 |
| ・賀詞交歓会 | 平成 26 年 1 月の予定 |

○事務局からのお知らせ

- ・平成25年度の会員の動き

入会された会員

会員区分：賛助会員

会員名：アジレント・テクノロジー株式会社

代表者：部長 石川 隆一

連絡担当者：梅田 裕士

TEL：0120-477-111, FAX：042-660-8676

現在の会員数（平成25年7月現在）

正会員 77社

賛助会員 9社 合計 86社

- ・編集後記

参議院選挙も終わり、衆参ねじれも解消されました。当業界も長らくデフレに苦しんで来ましたので、アベノミクス「三本の矢」の成果に期待したいと思います。

役員一同の協力もあり、「東環協ニュース第153号」が完成しましたので、皆様にお届けいたします。今後も会員の皆様のご協力を得ながら、より良いものにしたいと思います。ニュースに関するご意見・ご感想等がありましたら、事務局までご連絡ください。宜しくお願い申し上げます。